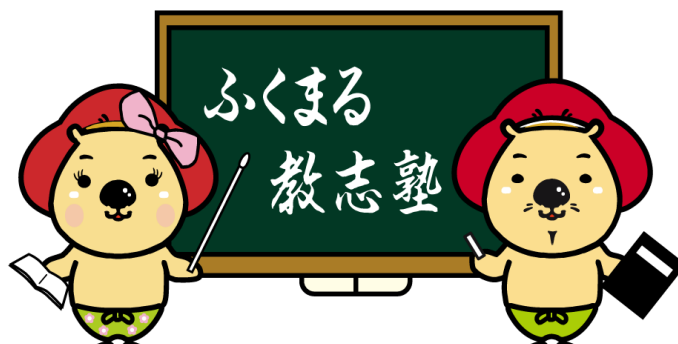


第9回 ふくまる夢たまごセミナー



日 時 1 月 12 日 (金) 18 : 00 ~ 20 : 00

場 所 池田市立池田小学校

内 容 おもしろ授業実践 PART 3

「算数科」

講師 内村 衛 氏 (池田市立池田小学校 教頭)

「体育科」

講師 越智 裕 氏 (豊能地区教職員人事協議会 指導主事)

今回のセミナーは、池田小学校 3 年 1 組の教室で始まりました。

1 限目は「算数」、内村先生の「今年の運勢を占いましょう」という言葉から始まりました。1 月にふさわしい導入の授業です。各自が任意の 3 桁の数字を書き、それを繰り返して 6 桁の数字にしました。これを 7 で割って、13 で割って、最後に 11 で割って、塾生は、内村先生の話から、数字の面白さに引き込まれていきました。



続いて、0 を除いた数字で 2024 を導き出す問題です。

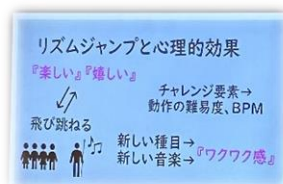
「わからない」「なかなか答えが出ない」その状況を楽しむ貴重な体験ができたようです。

2 限目は「体育」、池田小学校の体育館に移動しました。

塾生は、体育科の導入として、越智先生のリードのもと、リズムジャンプに挑戦しました。軽快な音楽に合わせて、床に置いたバーを跳び越しながら、順々に難しくなる条件をクリアしていく楽しさを体験しました。



「リズムジャンプは、体をほぐすというウォーミングアップだけでなく、脳を活性化し心をほぐす心理的効果がある。」という越智先生の話は、体験の後の塾生に響いたようです。



<塾生の感想から>

○算数の授業では、授業の導入の重要性について考えることができました。計算が苦手な子どもでも答えを出したい意欲が出るような問題だと苦手意識なく取り組むことができました。

○今社会での問題は答えが複数あることやむしろ答えがないことばかりです。生徒たちが「できない・わからない」に必ず出会い、そこで、自らの知識や経験、調べ学習などを通して自分なりの答えを導き出す。そこに楽しさが生まれる問いかけや声掛け、授業の展開を意識していきたい。

○リズムジャンプでは、後半になるにつれ難易度が上がり、動きがわからなくなってしまうことが多くなりました。しかし、なぜかとても楽しく感じ、算数の授業で学んだ「わからない楽しさ」も、異なる教科ではありましたが、大切なことは同じであり、この楽しさを伝えていきたいと思いました。



○運動が苦手でもうまくできなくても、一緒に手をたたいてリズムに乗ったりして周りを巻き込んで楽しめる仕掛けがあった。今回教わったような、心と身体の両方に働きかけるような導入をもっと知りたいと感じた。